

癌化学療法輸液約束処方 多発性骨髄腫:MM 9

癌種 未治療の多発性骨髄腫
レジメン名 MM9 DMPB

薬品名(商品名)	一般名	略名	標準投与量	投与経路	投与日(1クール:42日間)
ダラキューロ配合皮下注	ダラツムマブ・ボルヒアルロニダーゼアルファ		1800mg/V	皮下注	1クール目:Day1,8,15,22,29,36 2-9クール目:Day1,22 10クール目以降:Day1
ベルケイド	ボルテゾミブ	BOR	1.3mg/m2	皮下注	1クール目:Day1,4,8,11,22,25,29,32 2-9クール目:Day1,8,22,29 10クール目以降:なし
アルケラン	メルファラン	L-PAM	9mg/m2	内服	1クール目:Day1-4 2-9クール目:Day1-4 10クール目以降:なし
プレドニン	プレドニゾン	PLD	60mg/m2	内服	1クール目:Day2-4 2-9クール目:Day2-4 10クール目以降:なし

皮下注

- ① **ダラキューロ1800mg** (15mL)/ 3~5分かけて投与 調製後4時間以内に投与
- ② **ベルケイド mg** / 3~5分かけて投与 1Vを NS 1.2mLで溶解 → 2.5mg/mL

- <備考>
- ① ダラキューロ投与日:アセトアミノフェン600mg、ポララミンを内服
 - ② 1クール目Day1 モンテルカスト錠10mg内服
 - ③ Day1デキサメタゾン20mg内服(インフュージョンリアクション対策)
 - ④ 臍から左又は右の腹部に皮下注すること
 - ⑤ 同一部位への反復注射は行わないこと
 - ⑥ プレドニンはDay2から4日分出すこともある(栗林先生より)
- <休薬・減量> 休薬:PLT<7万、neu<1000 減量:Grade3以上の血液毒性、非血液毒性
減量:BOR 1.3→1.0→0.7→投与中止
L-PAM 9→6.75→4.5→投与中止
PLD 60→45→30→投与中止